



# 君津商工会議所 FAX通信

会員の皆様へ…会頭からのメッセージ  
平成27年10月10日(土)

Vol. 313

## 世論を視点を変えて見る

秋元 秀夫

今不況打開策、財政改善のために如何に人口を増やすかと全国の市町村は躍起になって居ります。人口増は経済にとって最大エネルギー源だと唱え、誰一人異論をいう人は居りませんでした。標題の様、世論を裏側から「天の邪鬼」に考えたらどうなるかと思って書いてみました。

皆さん、もう一度ウルグアイのムカヒ大統領の演説を思い出してください。「限られた地球の中であって、人類が地球の自然と調和して生きていかなければ人類はやがて滅亡してしまふでしょう。そして、世界から貧しさや病気をなくして平和でありたいと唱えながらも、自分たちの市や家はもっと豊かになりたいと望んで居りませんか。もし、インド14億人の人達がドイツ8,200万人と同じように車を持ったら、全世界の人が車を持つようになったら地球に人が息する酸素はどれだけ残るでしょうか。」とムカヒ大統領は問いかけました。

全世界の人達およそ70億人～80億人の人が西欧社会のような贅沢な食生活をしたら地球の資源は足りると思いますか。日本人の一日の使用する水はおよそ250ℓ、アフリカではおよそ平均1ℓであります。日本国内で生産される飲料水は180万ℓ、輸入する飲料水は55万ℓであります。地球は「水と緑の惑星」と私は思っております。その地球の水の量はおよそ17億kℓといわれますが、海水が97.5%、淡水は2.5%、人が使える水はわずか0.01%しかないのであります。今、先進国はあげて人

口減に悩み、人を増やせと合唱して居るように思えますが本当にもっと人を増やすべきでしょうか。世界では毎年14,000万人生まれ、6,000万人が亡くなって、毎年8,000万ずつ人が増えて居るのです。日本は今、毎年750万人生まれて1,500万人亡くなって居りますからこのままでは毎年750万人ずつ減っていくことになります。

あえて「天邪鬼」に考えれば高齢化に対して私達は考え違いをして居るのではと思えます。65歳以降を高齢者という法定用語？が使われた時は男女平均寿命66歳(およそ50年前)、現在の平均寿命およそ80歳でありますから高齢者の線引きは75歳以上と変えて、退職もまた75歳位まで変えれば現実に合ったバランスとなり、老後不安も、社会保障財政も改善できます。TPPは「安保法制」より大事だと思って居ります。世界耕作面積は6.2億～6.9億<sup>ha</sup>と言われ、食糧の生産量は22億tが限界だと言われています。このまま人口が増えれば餓死か水と食糧戦争であります。戦争の多くは貧しさからであります。日本は今食糧は3,000万t(およそ5兆円)輸入して800万tを食べ残し廃棄しています。食糧生産に要する水は牛肉20t/kg、豚肉6t/kg、小麦2.6t/kg、卵3.2t/kg、紙45t/kg、繊維24t/kgもかかります。日本の自給生産は水、耕地面積からとても一億人は養えないでしょう。砂漠化する中国は世界最大の輸入国となって日本の食糧輸入は脅かされて居ります。

GDPは、日本は3位に落ちて、生産人口が心配されて居りますが一人当たりのGDPは人口1千万人以下の①ルクセンブルク②ノルウェー③カタール④スイス⑤オーストラリア⑥デンマーク⑦スウェーデンが上位であります。

これらの国は極めて老後の安定した社会保障の国だと言われております。(⑩アメリカ⑳日本㉑韓国㉒中国)わが君津市も世論に迎合せず、別の視点で考えてみるとまだまだ君津は…と言えるのではないかと、あえてデータに角度を変えて書いてみました。